

QR Newsletter



第四紀通信

Vol. 27 No.3, 2020



昨年の台風19号の増水によって擁壁が流された桂川（相模川）右岸（都留市田野倉）。擁壁に隠されていた桂川の河川堆積物と、その上に堆積する富士相模川泥流堆積物（厚さ約10m）が好対照をなす。（撮影：白井正明）

Vol. 27 No. 3

June 1, 2020

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への日本第四紀学会の対応..... 2	2020年度会費請求時期の遅れについて..... 3
JpGU-AGU Joint Meeting 2020 オンライン大会について..... 2	評議員会議事録..... 3
「学生会員継続届け」提出のお願い... 2	執行部会議事録..... 3
	会員消息..... 4

◆新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への日本第四紀学会の対応について

日本第四紀学会では、2020年2月に学会賞・学術賞受賞記念講演会を企画しておりましたが、COVID-19の拡大リスクと参加者の安全を考慮して延期と致しました。今後もCOVID-19への対応が必要であることから、オンラインでの執行部会と電磁的な方法による評議員会を開催し、今年度から次年度に向けての活動に関して議論し、以下のような結論に至りました。会員の皆様には、ご不便をお掛けして申し訳ありませんが、昨今の状況を鑑み、ご理解頂きますよう、お願い申し上げます。

- 1) 2020年8月に大阪で開催予定であった2020年大会は、参集して大会を開催することは難しいとの結論に至りました。これに代わるものとして、別の方法による総会と大会の開催を、延期を含めて検討することになりました。総会及び大会の開催については、方法、会場、開催日を今年度内（今年7月末まで）に至急検討し、評議員会で決定後、速やかに会員の皆さまには連絡するように致します。なお、大阪での大会は2021年夏に改めて開催することを企画しています。
- 2) 会員の皆様には8月からの新年度（2020年度）の会費請求を7月に発送予定としておりますが、学生会員への支援を検討しており、お手元に届くのが若干遅れるかと思えます。
- 3) 今年度の活動である顕彰については、予定通り実施の予定です。
- 4) 延期となりました学会賞・学術賞受賞記念講演会については、2020年度に実施の予定です。詳細が決まり次第、ご連絡致します。

総会や大会につきましては、具体的な案が評議員会で承認され次第、メーリングリストやホームページ、第四紀通信を通じてご連絡致しますので、お待ち頂きますようお願い致します。

皆様には、くれぐれもお体にはお気を付けくださいますよう、よろしくお願い致します。

日本第四紀学会会長 齋藤文紀 2020年5月19日

◆JpGU-AGU Joint Meeting 2020 オンライン大会について

「JpGU-AGU Joint Meeting 2020」はCOVID-19の世界的な拡大を受け、7月12日（日）～16日（木）に、オンライン（virtual）方式での開催となりました。

【JpGU-AGU Joint Meeting 2020 オンライン大会の実施方法】

- レギュラーセッションのすべての口頭及びポスター発表について、画像やテキストに加え動画や音声の組み込みや双方向コミュニケーションツールの併用も可能なiPosterを採用。
※発表取り下げ申請も可能（投稿料は返金無し）。
- 各レギュラーセッションにおいて、Discussion Forum Session (DFS) を午前中に開催しライブ配信。開催曜日は当初プログラムから変更無し。
- パブリックセッション・ユニオンセッションの一部や、ランチタイムセミナー等の各イベントについては、セッションの希望や実施可能性に応じてライブ配信することを検討。

【発表資料取扱ポリシー（AGU規則に準じる）】

- 発表資料（動画・音声を除く）は、発表者が拒否した場合を除き、参加者によるスクリーンショットやダウンロード等を可能とする。発表者の承諾なしにそれらの他への公開・配布を禁止。その取り扱いには研究者倫理を遵守することを求める。

【参加登録料（税込み金額）】

- 会員価格【正会員／AGU・EGU・AOGSメンバー】
一般：14,300円、小中高教員・大学院生・シニア：7,700円、学部生以下：無料
※ EGU・AOGS会員はシニアの区分はありませんので、一般料金となります。

- 非会員価格【大会ID】
一般：23,100円、小中高教員・大学院生：14,300円、学部生以下：無料

- ★パブリック（一般公開）セッションのみの参加は無料です。

その他詳細は、JpGU-AGU Joint Meeting 2020:Virtual ウェブサイト (http://www.jpгу.org/meeting_j2020v/) にてご確認ください。

◆学生会員の皆様へ「学生会員継続届け」提出のお願い（再掲、一部追加）

日本第四紀学会では、学生会員は、毎年在籍中であることを「学生会員継続届け」として提出して頂くことになっています。

2020年度（2020年8月1日～2021年7月31日）を学生会員として継続希望されるかたは、A4判の

用紙（形式自由・ワープロ使用）に、申請者の所属・学年・氏名・連絡先・指導教官氏名を明記のうえ、指導教官の署名または捺印を添えてお送りいただくか、有効期限が明記された学生証のコピーを2020年6月20日（土）までに日本第四紀学会事務局まで郵送またはメール添付にてお送り下さい。本届が提出されない場合は、2020年度第1回目会費請求時に、正会員会費にて会費請求がされますので、ご注意下さい。

また、日本学術振興会特別研究員（PD）や科学技術特別研究員などは通常会員となります。

なお、COVID-19感染拡大および自粛要請の影響を考え、2020年度の学生会費については減免を検討中です。詳細が決まり次第、会員MLなどでお知らせします。

問合せ先・送付先：〒169-0072 東京都新宿区大久保2丁目4番地12号

新宿ラムダックスビル 日本第四紀学会事務局

E-mail : daiyonki(at)shunkosha.com TEL : 03-5291-6231 / FAX : 03-5291-2176

◆2020年度会費請求時期の遅れについて

日本第四紀学会の会費は前納制となっており、通常は7月に会費請求書をお送りしています。しかし、今年のCOVID-19感染拡大および自粛要請で会員の皆様にもその影響が及んでいるものと思われます。現在、2020年度（2020年8月1日～2021年7月31日）の会費請求内容に関して検討中につき、2020年度の会費請求書の発送が遅れることを予めご承知おきください。

◆2019年度第1回電磁的な評議員会議事録

2019年度第2回評議員会がCOVID-19感染リスクの点から延期されたことに伴い、2019年度名誉会員候補者選考委員会委員の選出について、2020年2月28日～3月5日の期間に第1回電磁的な評議員会を開催し、31名から回答を得て、賛成多数により以下のことが承認された。

2019年度名誉会員候補者選考委員会委員を以下の5名の会員とする。岡崎浩子、奥村晃史、公文富士夫、百原 新、米田 穰（敬称略、50音順）。また、名誉会員候補者ならびに功労賞候補者の選考期限を2020年5月31日とする。

◆2019年度第2回電磁的な評議員会議事録

編集委員会から編集委員の増員が提案され、編集委員会規程第2条に基づき、2020年3月24日～31日の間に第2回電磁的な評議員会を開催し

て審議され、27名から回答を得て、賛成多数により下岡順直会員を編集委員とすることが承認された。

◆日本第四紀学会2019年度第5回執行部会議事録

日時：2020年5月10日（日）10:00～13:30

方法：Zoomを使ったweb会議

出席者：齋藤文紀（会長）、鈴木毅彦（副会長）、高原 光（副会長）、水野清秀（庶務）、北村晃寿（編集）、藤原 治（行事）、白井正明（広報）、小荒井 衛（渉外）、奥村晃史（領域2）、里口保文（領域3）、工藤雄一郎（領域4）、小森次郎（領域5）
オブザーバ：三田村宗樹・井上 淳・中条武司（大阪大会実行委員会）

主な報告事項

- (1) 転載許可申請2件を承認した。
- (2) 2019年度学会賞・学術賞・若手学術賞（担当：学会賞選考委員会）、論文賞・奨励賞（担当：論文賞選考委員会）、名誉会員候補者・功労賞（担当：名誉会員候補者選考委員会）の各候補者を選考中である。選考の締め切りは2020年5月31日。
- (3) 第四紀研究第59巻第1号（論説2編）と2号（受賞論文1編）を刊行した。また第四紀研究第59

巻第3号（受賞論文1編・書評1編）の印刷工程中。（4）5月9日現在、第四紀研究受理済み原稿（書評を除く）は1編（59巻第3号に掲載）、手持ち原稿は論説11編、総説1編、解説1編である。

(5) 2017年の福岡大会を最後に第四紀研究特集号が企画されていない上、COVID-19対策の影響があり、直近に欠号の発生が懸念されることから、第四紀研究の号数削減（年4号）を提案することにした。

(6) 2020年2月29日に行う予定であった学会賞・学術賞受賞記念講演会は、COVID-19感染リスクを考慮し、延期した（時期未定）。

(7) 2020年8月大阪大会については、COVID-19に関する自粛要請のため、予定通りの開催は難しいと判断し、かわりに年末に東京周辺で開催するなどの案を大会実行委員会と検討した。

(8) 第四紀通信27-1号と27-2号を発行した。

(9) JpGU-AGU Joint Meeting 2020はオンラインで開催することとなり、開催時期も7月12日

～16日に変更となった。発表は iPoster 形式とし、発表日の午前中にライブ配信で Discussion Forum Session (DFS) を開催することになり、第四紀セッションについては関係者間で調整を行った。

(10) 「防災学術連携シンポジウム低頻度巨大災害を考える」が2020年3月18日に開催され、インターネット公開中継された。第四紀学会からは鈴木毅彦会員が講演を行った。

(11) COVID-19 に関する自粛のため、各領域の活動ができない状態であり、今後どのような形の活動が可能か、検討していく。

審議事項

(1) 2020年8月での大阪大会開催について、大阪大会実行委員会委員らと検討し、COVID-19 に関する自粛のため、現状においては今年8月の対面式の大会は開催困難であり、2020年度総会および2020年大会は、延期を含めて別の方法により開催することが妥当と判断した。それに代わって今年中に東京周辺で大会を開催する案、online で開催する案、大阪大会は2021年の夏に延期する案な

どをまとめた。最終的には7月までに執行部会で案を確定し、評議員会に提案することにした。

(2) 今後の大会、講演会などについては、自粛要請延長の可能性、COVID-19 感染リスクから直接参加が敬遠される可能性、旅費の節約などを考慮し、online での参加も可能にすることを前提として検討することにした。

(3) 会員への COVID-19 対策及び自粛の影響を考え、2020年度の会費減免の可能性について検討した。特に学生会員への配慮を中心に案をまとめ、評議員会に提案することとした。それに伴い、2020年度会費請求時期を遅らせることにした。

(4) 第四紀研究の年間号数を減らす提案を行うのとあわせて、年会費を減額できないか検討することにした。会議の online 化による旅費の節約、学生会員と一般正会員の差別化、長期的な会員数変動などの影響を総合的に判断して、会計委員会中心に試算を行い、可能であれば年内に総会で提案することにした。

★★★ 第四紀学会に情報をお寄せください ★★★

日本第四紀学会では、第四紀通信のほか、メーリングリスト (ML)、ホームページ (HP) を用いて情報発信をしております。メール本文に配信内容のタイトルと簡単な情報を書いて広報委員会アドレス (jaqua-koho(at)quaternary.jp) へご投稿ください。

情報発信の手段として、ML の積極的な使用をお願いします。ML へのご投稿についての詳細は、第四紀通信 27 巻 2 号の巻末をご覧ください (下記の通り HP でも閲覧可能です)。第四紀通信には主催・後援イベントなど第四紀学会として会員に広く周知する必要があると認められる情報を、HP には主催・後援イベントなどのほか「公募・助成」情報等を掲載します。詳しくは広報委員会アドレス宛に、個別にご相談ください。

第四紀通信は偶数月 1 日刊行予定としていますが、奇数月下旬には版下を HP (<http://quaternary.jp/>) にアップしていますのでご利用ください。

日本第四紀学会広報委員会

日本第四紀学会事務局

〒169-0072 東京都新宿区大久保 2 丁目 4 番地 12 号 新宿ラムダックスビル

株式会社春恒社 学会事業部内

E-mail : daiyonki(at)shunkosha.com 電話 : 03-5291-6231 FAX : 03-5291-2176